



【目指す児童像】  
考える子 健康な子  
親切な子 がんばる子

# いずみ

2024.6.13  
ひたちなか市立  
中根小学校  
学校だより No. 5



児童数 (1年生:52名 2年生:57名 3年生:44名 4年生:54名 5年生:62名 6年生:42名) 計311名

## 第1回学校運営協議会を実施

6月5日(水)に、第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることができます。第1回の会議では、ひたちなか市学校運営協議会規則に沿って、会長・副会長を選出しました。続く協議では、児童・教職員の思いを生かし、「たい・よう」の学校を目指す学校経営方針について承認していただきました。また、授業参観では、各学年の児童が一生懸命学習に取り組んでいる様子を見ていただきました。



## 生活科校外学習(2年)

6月6日(木)午前中に、2学年生活科の学習で校外学習を実施しました。今回の校外学習は、「学区内の様子(自然・公園などの施設)について関心を高める」「交通安全に気を付け、きまりを守って活動する」ことをねらいとし、「中根の春をはっけんしよう」という学習を行いました。少々の暑さはありませんでしたが、晴天に恵まれ、児童たちは元気に学校を出発しました。歩道を歩きながら、アジサイが美しく咲く様子に気付いたり、道ばたの葉っぱにとまっているテントウムシを見つけたりすることを通して、身近な自然に触れ合うことができました。中根上野公園では、シロツメクサが咲く公園内をグループごとに探索しました。グループによってはカナヘビを見つけてびっくりし、大騒ぎのグループもありました。道路を歩くときは、走行する車に注意を払ったり交差点を横断するときに安全確認をしっかり行ったりすることができました。たくさん歩いたので、その後の給食は、さぞおいしかったことでしょう。後日、活動についてまとめたことをクラスで発表しました。右の写真は児童がまとめた資料の一部です。児童がさまざまな春に気付いていることがよく分かります。



## 社会科・総合的な学習の時間校外学習(3年)

5月29日(水)午前中に、3学年社会科・総合的な学習の時間で校外学習を実施しました。今回の校外学習では、「身近な地域の特色ある場所(地形や土地利用、公共施設等)を観察して、必要な情報を集めて理解し、表現すること」をねらいとし、「学校のまわりを探検しよう!」という学習を行いました。当日は、虎塚古墳や十五郎穴、埋蔵物文化センターを見学しました。下記は活動の様子の一部です。

5月29日(水)午前中に、3学年社会科・総合的な学習の時間で校外学習を実施しました。今回の校外学習では、「身近な地域の特色ある場所(地形や土地利用、公共施設等)を観察して、必要な情報を集めて理解し、表現すること」をねらいとし、「学校のまわりを探検しよう!」という学習を行いました。当日は、虎塚古墳や十五郎穴、埋蔵物文化センターを見学しました。下記は活動の様子の一部です。

＜実際に見て、説明を聞く→「もっと知りたい!」につながる＞

虎塚古墳について、職員から説明を受ける。

情報を得たことで新たな「もっと知りたい」が爆発!職員へ質問攻め

児童A「ベンガラ(壁画の顔料)は何からできているのですか?」

→児童メモ:鉄のバクテリア、フライパンなどで焼く、あざやかな赤になる

さらなる「なぜ?!」が発生!「バクテリア?細菌?なんで焼くと赤?」

児童B「(骨だけということは)体を燃やしてからここに入れたんですか?」

児童C「なんで、骨しなくて、男の人だとかがわかるんですか?」

職員「時間になってしまったので、あと一人だけね。後は、担任の先生を通して(汗)」



このように児童の好奇心は、とどまるどころを知らません。中根小学校は、大変ありがたいことに学校から徒歩圏内に国指定史跡である虎塚古墳、十五郎穴があり、児童は間近に実物に触れることができます。児童は実際に見て、触れて、埋蔵物文化センター職員の説明を聞くことを通して、自分の中でどんどん「なぜ?」を膨らませていきました。まさに「自ら学ぶ力」が育まれている瞬間です。児童がもった「なぜ?」を大切に、「もっと知りたい!」につなげていくために、どのように支援するべきか、私たちも学び続けていきたいと考えます。